



令和5年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和4年8月12日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員社長室長 (氏名) 山田 秀樹

TEL 0256-33-3987

四半期報告書提出予定日 令和4年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第1四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第1四半期	19,341	7.9	460	0.7	475	1.2	303	2.8
4年3月期第1四半期	17,926	5.9	457	4.4	481	4.0	295	8.6

(注) 包括利益 5年3月期第1四半期 256百万円 (27.2%) 4年3月期第1四半期 351百万円 (16.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第1四半期	32.27	
4年3月期第1四半期	31.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年3月期第1四半期	21,140	9,042	42.8	960.61
4年3月期	21,377	8,852	41.4	940.39

(参考) 自己資本 5年3月期第1四半期 9,042百万円 4年3月期 8,852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期		7.00		7.00	14.00
5年3月期					
5年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,600	6.4	710	5.9	740	3.3	450	7.0	47.80
通期	76,800	5.6	1,500	5.7	1,580	4.3	970	21.5	103.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年3月期1Q	10,833,000 株	4年3月期	10,833,000 株
期末自己株式数	5年3月期1Q	1,419,227 株	4年3月期	1,419,227 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年3月期1Q	9,413,773 株	4年3月期1Q	9,413,811 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への対策としてワクチン接種が普及し、社会経済活動の回復に向け行動制限緩和などの動きがみられたものの、円安による為替相場の変動や世界的なサプライチェーンの混乱、ウクライナ情勢等の影響による食料品やエネルギー価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましても、原材料価格や物流費、光熱費の上昇及び人件費関連コストの増加など厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、お客様と従業員の安全と健康を最優先したうえで、令和3年度より『IDEA & INNOVATIONで、新たな価値をつくる』を中期経営計画のテーマに掲げ、刻々と変化する社会環境とお客様のニーズへの対応に努めてまいりました。特にデジタル面の取り組みとしましては、自社開発のスマートフォン決済サービス「Ocean ペイ」の普及に努め、スーパーマーケット事業及び弁当給食事業と宅配事業の新潟県内での運用ならびにネットスーパー等のEC（電子商取引）への注力など、お客様の利便性の向上を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は193億41百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は4億60百万円（前年同期比0.7%増）、経常利益は4億75百万円（前年同期比1.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億3百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、コロナ禍での購買行動の変化により、来店頻度を減らす一方でまとめ買いをする傾向は続いており、客単価は上昇しましたが、増加する競合店対策としての販売価格訴求が原材料価格の上昇により難しく、集客数は伸び悩みました。なお、店舗の老朽化が進んでいたチャレンジャー巻店（新潟市西蒲区）につきましては、6月26日付で旧店舗を閉店し、7月22日に隣地へ移転オープンを計画しております。

また、品質の統一化と店舗作業削減による生産性の向上を図るため、精肉の加工センターを6月に新潟市西区で開設いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は61億83百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は1億83百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

(業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、巣ごもり需要の反動減が懸念されたものの、4月にフランチャイザー主催のセール「総力祭」が実施されたことや、メディアにおいて業務スーパーの商品が紹介されることが依然として多かったこと、「ヨーロッパフェア」や「涼味フェア」などの当社独自の販売促進企画の相乗効果などにより客単価は上昇しました。また、前年度に6店舗出店したことも大きく影響し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は97億70百万円（前年同期比15.9%増）、セグメント利益は3億48百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

(弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、喫食者ニーズの多様化から販売食数の伸び悩みが見られました。また、原材料の値上げや配送費の上昇に対してコスト削減に努めたものの、従来の価格で販売することが困難となったため、販売価格の改定を進めてまいりました。

惣菜等の受託製造を行っている千葉工場につきましては、取り扱う商品アイテム数が増えたこと、受託先の販売店舗数の増加により売上高も大幅に増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は21億72百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は原材料価格や光熱費などの高騰により64百万円（前年同期比47.9%減）となりました。

(食材宅配事業)

食材宅配事業につきましては、福祉施設などへの食材販売を行う「ヨシケイキッチン」の契約施設数は順調に増加しました。また、顧客情報等を可視化するツールを一部の営業所で活用し始め、効率的な配達コースの編成と販促施策に努めました。コロナの感染状況が落ち着きを見せた際には、販促チラシのポスティングと顧客への訪問の再開に加えてWeb広告による宣伝活動に注力するものの、一般家庭向け食材セット販売につきましては新規顧客の獲得は伸び悩み、売上高は前年を割り込みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は11億13百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は30百万円（前年同期比27.9%減）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館、その他事業につきましては、観光需要喚起策「県民割」の実施により、春休みやゴールデンウィークに向けて駆け込みの旅行需要が底上げされ、宿泊者数は大きく伸びたことで業績の改善が見られましたが、外食需要も含めコロナ禍以前までの回復には至りませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は1億1百万円（前年同期比66.2%増）、セグメント損失は12百万円（前年同期はセグメント損失37百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億37百万円減少し、211億40百万円となりました。これは主に、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が5億66百万円、商品が2億62百万円増加したものの、現金及び預金が9億21百万円、売掛金が1億19百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億27百万円減少し、120億97百万円となりました。これは主に、納税により未払法人税等が2億27百万円、長期借入金が1億71百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億90百万円増加し、90億42百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が50百万円減少するものの、利益剰余金が2億37百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇し、42.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年5月13日の「令和4年3月期 決算短信」で公表いたしました連結及び個別の業績予想につきましては、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,622,205	2,700,587
売掛金	2,483,522	2,363,999
商品	1,848,974	2,110,982
原材料及び貯蔵品	150,155	157,349
その他	551,273	675,766
貸倒引当金	△1,762	△1,806
流動資産合計	8,654,370	8,006,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,186,258	5,107,904
土地	3,196,126	3,198,858
その他(純額)	1,462,331	2,026,876
有形固定資産合計	9,844,715	10,333,640
無形固定資産		
のれん	55,129	38,008
その他	255,812	255,916
無形固定資産合計	310,942	293,924
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	41,365	40,494
その他	2,528,324	2,467,463
貸倒引当金	△2,000	△1,834
投資その他の資産合計	2,567,689	2,506,123
固定資産合計	12,723,347	13,133,688
資産合計	21,377,718	21,140,567
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,162,054	4,065,666
1年内償還予定の社債	600,000	600,000
短期借入金	1,247,855	1,112,648
未払法人税等	326,935	99,080
賞与引当金	220,501	92,262
資産除去債務	33,859	33,867
その他	1,960,274	2,319,305
流動負債合計	8,551,480	8,322,830
固定負債		
長期借入金	2,002,008	1,830,076
リース債務	578,580	590,850
退職給付に係る負債	891	1,354
役員退職慰労引当金	184,030	149,760
資産除去債務	835,026	837,799
その他	373,095	364,972
固定負債合計	3,973,631	3,774,813
負債合計	12,525,111	12,097,644

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	8,461,348	8,699,275
自己株式	△1,169,721	△1,169,721
株主資本合計	8,460,119	8,698,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	415,039	364,963
退職給付に係る調整累計額	△22,552	△20,086
その他の包括利益累計額合計	392,486	344,876
純資産合計	8,852,606	9,042,922
負債純資産合計	21,377,718	21,140,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
売上高	17,926,959	19,341,891
売上原価	13,757,874	14,963,413
売上総利益	4,169,085	4,378,477
販売費及び一般管理費	3,711,655	3,917,795
営業利益	457,429	460,682
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2,403	3
受取家賃	8,273	8,753
受取保険金	10,272	—
その他	25,023	22,915
営業外収益合計	45,972	31,672
営業外費用		
支払利息	5,034	5,538
その他	16,553	10,843
営業外費用合計	21,588	16,382
経常利益	481,813	475,972
特別損失		
固定資産除却損	2,497	782
賃貸借契約解約損	1,944	—
災害による損失	—	1,273
特別損失合計	4,441	2,055
税金等調整前四半期純利益	477,372	473,916
法人税、住民税及び事業税	99,186	89,358
法人税等調整額	82,542	80,735
法人税等合計	181,728	170,094
四半期純利益	295,643	303,822
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	295,643	303,822

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
四半期純利益	295,643	303,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,054	△50,076
退職給付に係る調整額	2,049	2,466
その他の包括利益合計	56,103	△47,609
四半期包括利益	351,746	256,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	351,746	256,212
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,241,037	8,429,540	2,057,589	1,137,610	61,181	17,926,959	—	17,926,959
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	83	183	67,132	—	279	67,678	△67,678	—
計	6,241,121	8,429,723	2,124,721	1,137,610	61,460	17,994,638	△67,678	17,926,959
セグメント利益又 は損失(△)	179,135	293,648	124,228	42,382	△37,141	602,253	△144,823	457,429

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△144,823千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△144,993千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,183,490	9,770,739	2,172,379	1,113,590	101,691	19,341,891	—	19,341,891
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	252	1,568	98,329	—	472	100,623	△100,623	—
計	6,183,743	9,772,307	2,270,708	1,113,590	102,164	19,442,514	△100,623	19,341,891
セグメント利益又 は損失 (△)	183,540	348,623	64,764	30,544	△12,796	614,676	△153,994	460,682

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△153,994千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△150,632千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

I 前第1四半期連結累計期間（自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	
一時点で移転される財又はサービス	6,214,700	8,375,696	2,033,572	1,137,010	61,181	17,822,161
一定の期間にわたり移転される財 又はサービス	—	43,800	23,267	600	—	67,667
顧客との契約から生じる収益	6,214,700	8,419,496	2,056,839	1,137,610	61,181	17,889,828
その他の収益	26,337	10,043	750	—	—	37,130
外部顧客への売上高	6,241,037	8,429,540	2,057,589	1,137,610	61,181	17,926,959

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	
一時点で移転される財又はサービス	6,158,068	9,714,907	2,150,022	1,112,990	101,691	19,237,680
一定の期間にわたり移転される財 又はサービス	—	45,900	21,607	600	—	68,107
顧客との契約から生じる収益	6,158,068	9,760,807	2,171,629	1,113,590	101,691	19,305,787
その他の収益	25,422	9,931	750	—	—	36,103
外部顧客への売上高	6,183,490	9,770,739	2,172,379	1,113,590	101,691	19,341,891